

第71回全米公共・行政学会（ASPA）全国大会2010のお知らせ

兵庫自治学会が交流を行っている全米公共・行政学会（ASPA: American Society for Public Administration）では、毎年1回全国大会を開催しています。

2010年4月にカリフォルニア州サンノゼで開催される第71回大会について全米公共・行政学会のサイト（<http://www.aspanet.org/2010conference/>）に掲載されましたのでご案内します。

会員の皆様が参加される場合は、一定の要件を満たす方を対象に、審査のうえ、15万円(1名のみ)を上限に支援する制度があります。希望者は平成22年1月15日（金）までに、志望動機及び大会参加を踏まえた自治学会への貢献について2000字程度（A4・1枚）で記載した用紙を添えて事務局までご応募ください。選考を行います。

大会の概要は次のとおりです。

- (1) 開催期間：2010年4月9日（金）～13日（火）
- (2) 開催場所：アメリカ合衆国 カリフォルニア州サンノゼ
- (3) テーマ：Invigorating Public Service for Change
（変革のための公共サービスの活性化）
- (4) 内 容：米国では、長期的にも短期的にも、経済の回復、ベビーブーム世代の引退に伴うコスト増大、効果的な医療の提供、地球規模の温暖化の軽減、荒廃したインフラ設備の補修といった困難な課題に直面しています。政府は公共部門による諸課題の解決に取り掛かっています。また行政と民間パートナーが連携して、次世代のための持続可能な将来を構築するとともに、短期的な財政問題を軽減することを期待しています。創造的な解決に向け200人を超える公共サービスの専門家が出席し、基調講演やセッション、ワークショップ、パネル、ラウンドテーブル、ポスター発表等が開催されます。参加者は公共サービスの専門性を向上につながるリーダーシップの手法をじかに習得することができます。
- (5) 参加者：アメリカ合衆国の政府・自治体職員、NPO職員、学識者、学生のほか各国のASPA会員等
- (6) 支援の要件：会議に出席するために必要十分な英語能力を有すること
帰国後、参加報告書（5千～1万字程度）を提出すること
参加で得た知見を行政課題や地域貢献等自治学会の活動に還元する予定があること等
- (7) 昨年度参加者の感想：
テーマ“Governance in the Midst of Diversity: Bridging Opportunity & Challenge”
（多様化社会におけるガバナンス～機会と課題の橋渡し～）

今回初めてASPAの全国大会に参加させていただいたが、アメリカの行政職員、研究者、大学院生、NPO、そして中南米、カナダ、中国、韓国からの参加者など、参加者が多岐にわたるまさに多様性“Diversity”の中の大会であった。

分科会においても、黒人の方から「40年前にはこのような議論をすることすら想像できなかった」といった発言が出るなど、人種、性別を問わず多様性“Diversity”をどう生かすかを議論しており、また、マイアミという都市は、人口の65.76%はヒスパニック、ラテン系でありスペイン語が英語と同じくらい使われているとしてあり、会場を出てもアメリカ社会の多様性を感じることができた。

日本は、単一民族的な国家であるが、世界経済がグローバル化する中、また地球環境問題に取り組んでいく中で、自治体においても、これからますます多様性“Diversity”をとりいれた創造的な政策がもとめられていくだろうという思いを強くした。

今後、行政を行っていく中で、またその実践に向けた研究を行っていく中で、今回体感することのできた多様性“Diversity”という視点を取り入れ、いかしていきたい。（参加報告書 <http://hapsa.net/pdf/aspa70thReport.pdf> より抜粋）